



三次市立図書館発

おとなの寺子屋

— ネットで学ぶ 往来本 —

頼杏坪とその時代

【講師】

往来物研究家・往来物倶楽部代表

小泉吉永氏

往来本を学ぶ
連続講座

図書館内の受講とZoomの受講を選択

受講料

通し券 5,000円

定員

館内 受講生 10名 ※申し込み先着順
Zoom 受講生 30名 ※Zoomを使った在宅受講

申込方法

チラシ裏面をご覧ください。

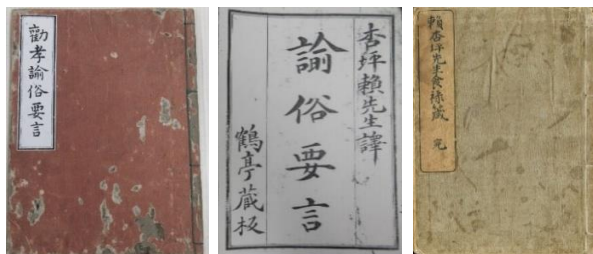
日程

毎月第3金曜日 14:00~16:00 (全6回)

Zoom
オンライン受講
OK

頼杏坪が著した3冊の往来本を学ぶ講座

- | | | |
|-----|-----------|--------------------------|
| 第1回 | 6月18日(金) | かんこうゆぞくようげん
勸孝諭俗要言を読む |
| 第2回 | 7月16日(金) | 勸孝諭俗要言と孝経 |
| 第3回 | 9月17日(金) | 諭俗要言を読む |
| 第4回 | 10月15日(金) | 諭俗要言と教民の詞 |
| 第5回 | 11月19日(金) | 食禄箴を読む |



図書館職員による三次市立図書館
往来本デジタルアーカイブ資料 ミニ解説あり
第1回：商売往来 / 第2回：寺子式目 / 第3回：さざれ石



『近世名家肖像図巻』頼杏坪
出典：ColBaseをもとにトリミング作成
(<https://colbase.nich.go.jp/>)

頼 杏 坪 (らい きょうへい)

頼杏坪は宝暦6年(1756)父又十郎、母仲仔の四男として竹原市の豪商紺屋に生まれる。兄春水とともに儒学の教師として広島浅野藩に仕え宗学(*)を先頭になって唱え文化10年(1813)60歳近くになって三次・患蘇・三上・奴可の代官として民生の安定を第一として施政にあたる。文政11年(1828)から3年間三次町奉行を勤める。『芸備孝義伝』や『芸藩通志』の藩史編纂に携り、『諭俗要言』『食禄箴』『春草堂詩鈔』などの著作がある。

(*)各宗門の教義について研究する学問。

申込
問合せ

みよししりつとしょかん
三次市立図書館

月曜日休館

後援：三次市教育委員会

電話：(0824)62-2639 FAX：(0824)63-2861

E-mail：miyoshi-lib@m-city.jp

2021年『おとなの寺子屋』参加のご案内

受付表

ご住所 (〒 -)	
フリガナ お名前	電話番号
	F A X
E-mail	

申込方法

【**図書館受講**】 三次市立図書館にて受け付けいたします。(受付表にご記入ください。)

【**Zoom受講**】 電子メールにて、表題に「おとなの寺子屋」と記載し、必要事項(住所、氏名、年齢、当日連絡可能な電話番号、支払い方法)をご記入の上、図書館(事務局)までお申し込みください。詳しくは、三次市立図書館ホームページ、「おとなの寺子屋」をご覧ください。【URL:<http://tosho.city.miyoshi.hiroshima.jp/>】

※Zoom受講にはパソコン、スマートフォンなどの端末およびインターネット環境が必要です。視聴にかかる通信費等は、視聴する方の負担となります。

- ・お申し込みの際の個人情報について、利用目的以外の使用は、一切いたしません。
- ・新型コロナウイルスの感染状況によっては、本事業を中止する場合があります。

お支払い

【**現金(窓口のみ)**】 もしくは【**銀行振込(ゆうちょ)**】

申込から1週間以内にお支払いください。
振込手数料はお客様負担とさせていただきます。



三次市立図書館
HP用二次元コード

事務局

三次市立図書館(三次市福祉保健センター)

〒728-0013 広島県三次市十日市東三丁目14番1号

電話:(0824)62-2639 FAX:(0824)63-2861 E-mail:miyoshi-lib@m-city.jp

【講師】

往来物研究家
往来物倶楽部代表
立正大学講師
小泉 吉永氏
(こいずみ よしなが)



三次市立図書館の往来本は、日本有数の貴重なコレクションとして戦前から多くの研究者に注目され、研究されてきました。図書館設立の契機にもなり、昭和37年には三次市重要文化財に指定されましたが、残念ながら市民一般には余り知られていません。

「おとなの寺子屋」では、そんな貴重な往来本を取り上げて、その魅力や意義を分かりやすくお話しします。講座後も「三次市立図書館・往来本デジタルアーカイブ」で、いつでも、どこでもパソコン・スマホで原本を読むことができます。

日本の庶民文化の縮図ともいえる往来本を通じて、江戸時代やそれ以前の日本の歴史や文化、日本人のありようを、ともに学びましょう。

三次市立図書館 『往来本』



往来本(一般に「往来物(おうらいもの)」とも)は、平安時代後期から大正時代にかけて寺子屋等で用いられた読み書き教科書の総称です。もともと手紙文を教材化したために「往来」の名称が使われたが、中世から近世にかけて語彙・教訓・地理・歴史・産業の各分野のものや、女子用の往来本なども作られ、刊本だけでも7000種以上確認されています。

三次市の重要文化財である往来本612点は、各分野をほぼ網羅するだけでなく、世界に1冊しかない貴重なものも数多く含まれます。

平成29年度に往来本196点を厳選してデジタルアーカイブ化し、インターネットで世界中の方が閲覧できるようになりました。今回の「おとなの寺子屋」でも毎回1点ずつ取り上げて図書館員がポイント解説いたします。